一般社団法人
日本サッシ協会
Japan Sash Manufacturers Association

＜日本サッシ協会　快適な住まい情報室 REPORT #03＞

夏の住まいユーザー意識調査レポート（窓リノベ）

2025年10月6日

一般社団法人　日本サッシ協会

今回のレポート内容

１．2025年　夏の猛暑について

２．夏の住環境に関するエンドユーザー意識調査
（築20年以上の戸建て住宅にお住まいの方）

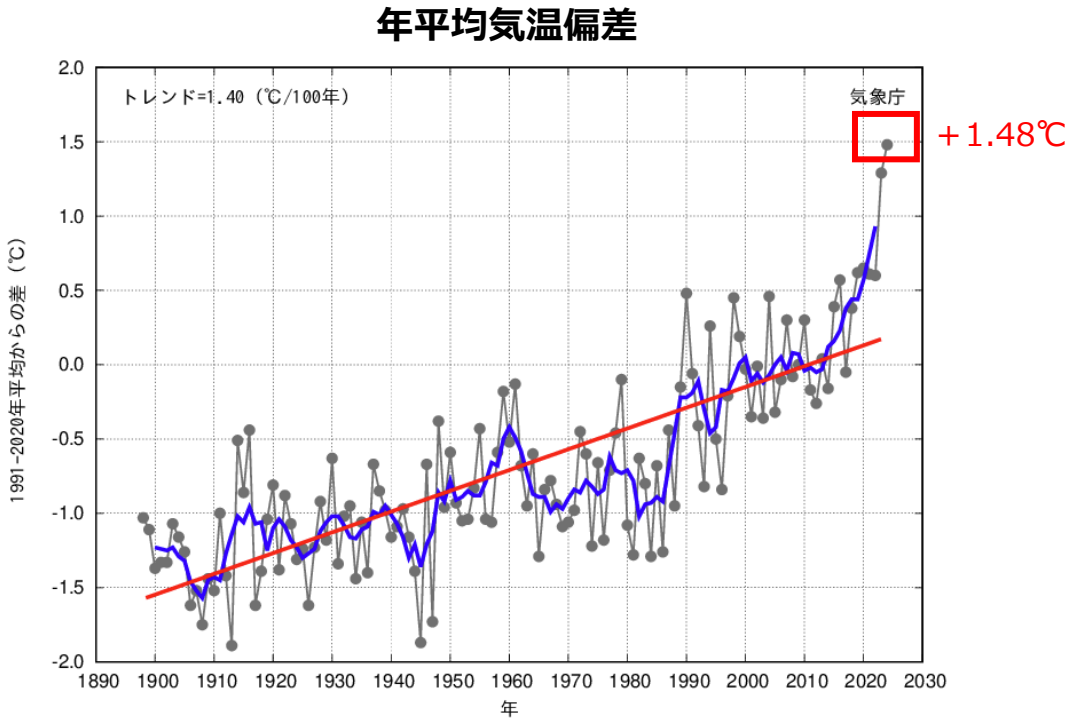
・リフォームへの対応、関心について

・夏の住宅に関する快適性について

・窓リフォームへの関心について

1．日本の年平均気温偏差の経年変化

- 日本の年平均気温は、**2024年に過去最高値**（基準値※より+1.48℃）を記録し、**統計開始以来の最高記録を更新**しました。気象庁の統計によると、日本の年平均気温は100年あたり1.40℃のペースで上昇しており、特に1990年代以降は高温となる年が目立つようになっています。



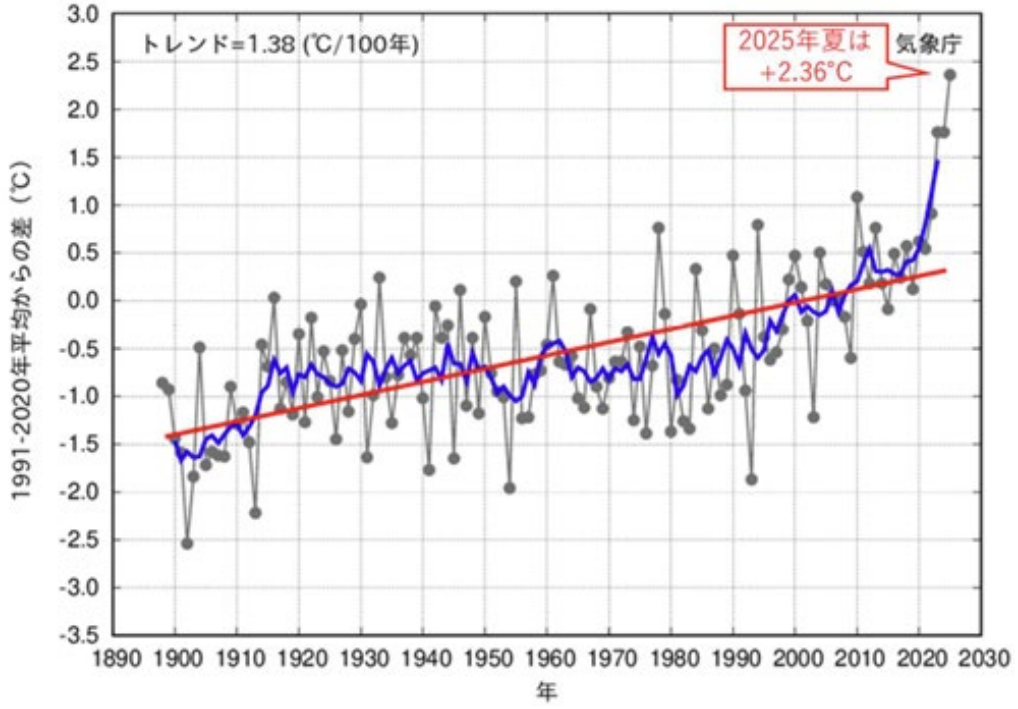
細線（黒）：各年の平均気温の基準値からの偏差、太線（青）：偏差の5年移動平均値、直線（赤）：長期変化傾向。
※基準値は1991～2020年の30年平均値。

出典： 国土交通省　気象庁　日本の年平均気温
https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_jpn.html

2．夏の平均気温偏差の経年変化

- 日本の夏（6月～8月）の平均気温は、**2025年に過去最高値（基準値より+2.36℃）を記録**し、1898年の**統計開始以来の最高記録を更新**しました。気象庁の統計によると、日本の夏の平均気温は100年あたり1.38℃のペースで上昇しています。

夏（6月～8月）の平均気温偏差



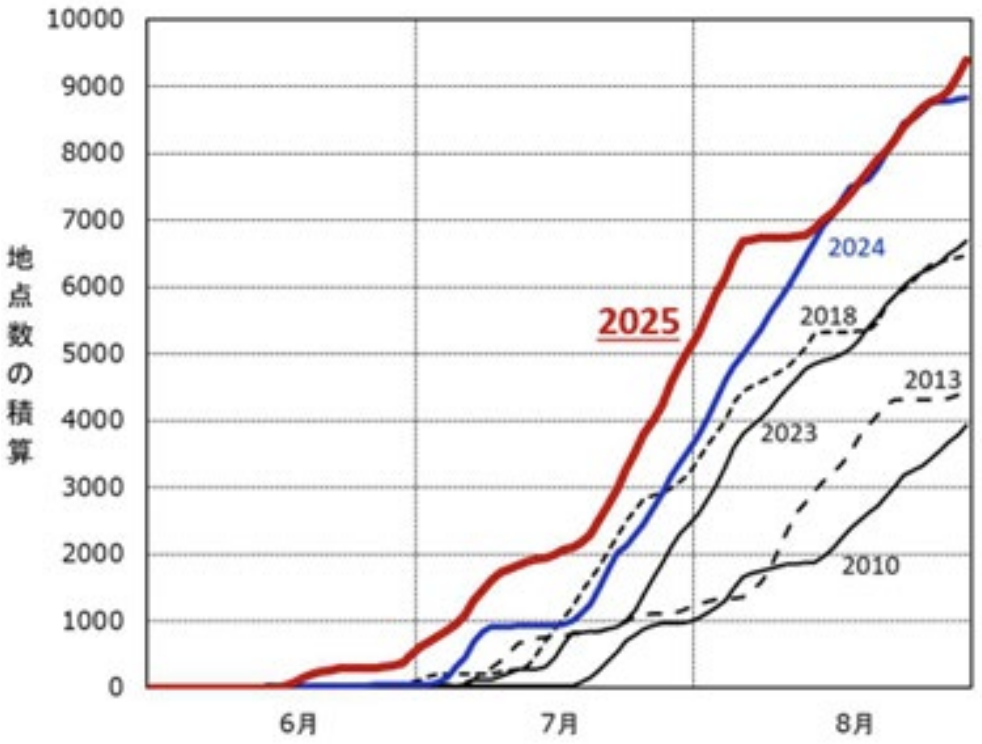
細線（黒）：各年の平均気温の基準値からの偏差、太線（青）：偏差の5年移動平均値、直線（赤）：長期変化傾向。

出典： 国土交通省　気象庁　日本の季節平均気温
https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/sum_jpn.html

３．夏の猛暑日地点数の積算

- 全国の「アメダス」観測地点における猛暑日（最高気温35℃以上）の積算地点数は、2025年の夏（6月～8月）に**9,385地点に達し、これまでの記録（2024年の8,821地点）を更新**しました。
- さらに、全国153の気象台などのうち、**132地点で夏の平均気温が観測史上最高**を記録しています。

夏（6月～8月）の猛暑日地点数の積算

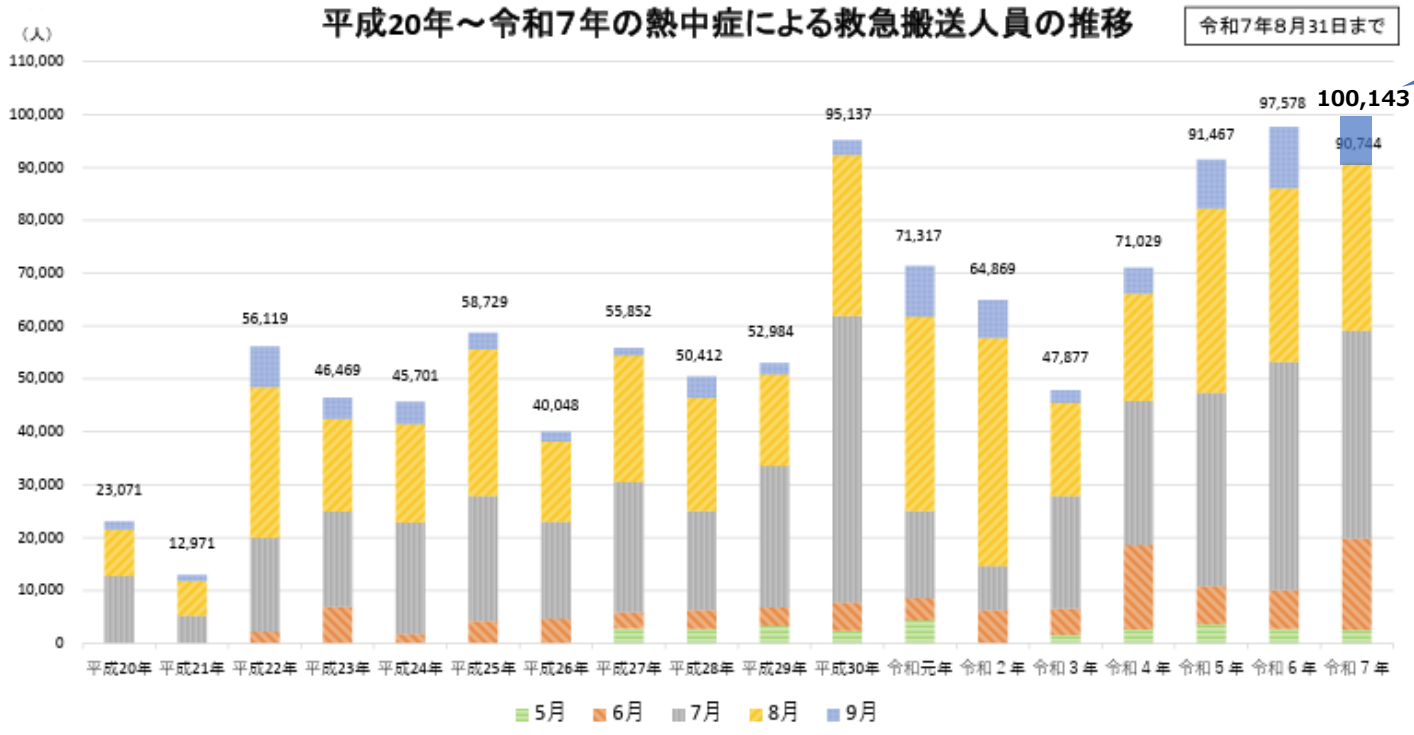


出典： 国土交通省　気象庁　2025 年の梅雨入り・明け及び夏（6～8月）の記録的高温について
https://www.jma.go.jp/jma/press/2509/01a/honshi.pdf

４．夏の熱中症による救急搬送状況

- 今年は「熱中症予防に関する喚起」が多くのメディアでも連日報道がありました。
- しかしながら、令和7年**5月から９月まで（9月28日までの速報値）の累計搬送人員は100,143人**となり、平成27年の**調査開始以降で一番多い記録**となりました。

消防庁が9月28日に公表した速報値によると、2025年5月1日～9月28日の期間に全国で100,143人が救急搬送されました。



出典： 総務省　消防庁　熱中症による救急搬送状況および全国の熱中症による救急搬送状況（速報値）
https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/items/r7/heatstroke_geppou_202508.pdf
https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/items/r7/heatstroke_sokuhouti_20250915.pdf

夏の住環境に関する意識調査

1．調査の主旨

- 「快適な住まい情報室」では、**夏の住環境における課題を把握**するため、**築20年以上の戸建住宅にお住まいの一般消費者を対象**とした意識調査を実施いたしました。
- 「家のつくりようは夏をむねとすべし」という吉田兼好の言葉にもあるように、**日本の住宅は古くから夏を旨とした造りが主流**であり、従来の住宅リフォームも冬の断熱に焦点が当てられることが多くありました。
- しかし、近年は夏の酷暑が常態化しており、**断熱性能の低い住宅**では室内温度が大幅に上昇しやすく、**熱中症などの健康リスクも年々高まっています。**
- 本調査では、**夏の住環境における消費者の意識を把握**することで、窓の断熱リフォームに関する消費者の価値観や潜在ニーズを調査しました。

2．調査の概要

項目	調査対象
調 査 主 体	一般社団法人　日本サッシ協会「快適な住まい情報室」
調　査　名	今夏のライフスタイルに関するアンケート
調 査 時 期	2025年8月下旬
対 象 住 宅	築年数20年以上の戸建住宅にお住まいの方
対 象 年 齢	25歳～75歳
職　　業	公務員 経営者・役員 会社員（事務系） 会社員（技術系） 会社員（その他） 自営業 自由業 専業主婦（主夫） パート・アルバイト その他
回 答 者 数	441名

3．回答者属性（参考）

回答者数合計：441名

性別	回答者数	割合
男性	241名	54.6%
女性	200名	45.4%

未既婚	回答者数	割合
未婚	137名	31.1%
既婚	304名	68.9%

子供の有無	回答者数	割合
子供あり	289名	65.5%
子供なし	152名	34.5%

世代	回答者数	割合
20歳～29歳	17名	3.9%
30歳～39歳	22名	5.0%
40歳～49歳	72名	16.3%
50歳～59歳	165名	37.4%
60歳以上	165名	37.4%

地域	回答者数	割合
北海道	23名	5.2%
東北地方	28名	6.3%
関東地方	164名	37.2%
中部地方	73名	16.6%
近畿地方	99名	22.4%
中国地方	22名	5.0%
四国地方	7名	1.6%
九州･沖縄地方	25名	5.7%

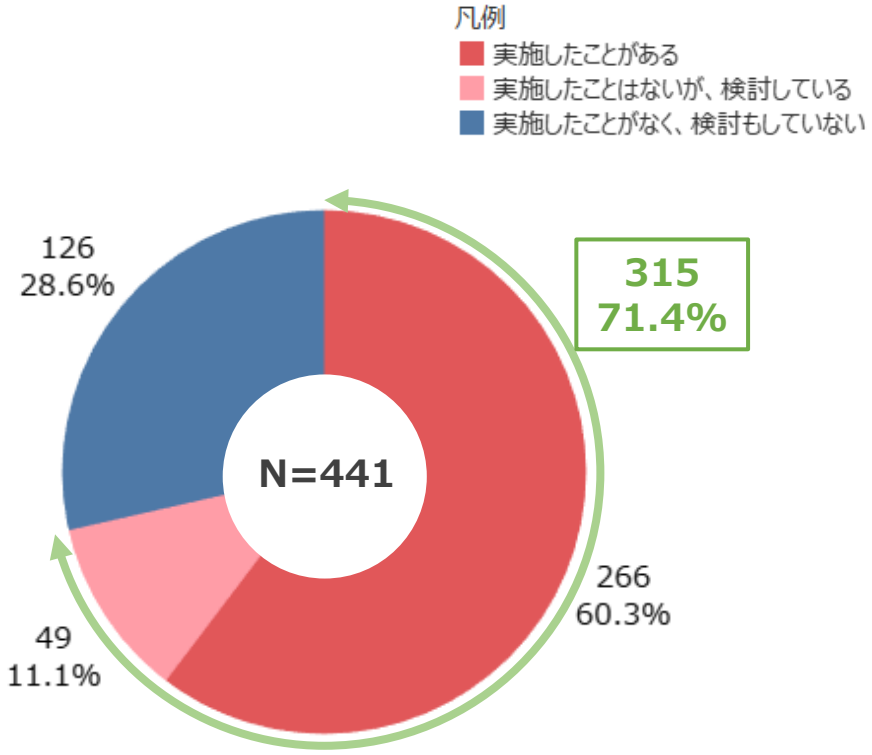
調査結果

Q1. これまで、自宅のリフォームを実施したことがありますか？

- 回答者441名のうち、60.3%が自宅のリフォームを「実施したことがある」、11.1%が「実施したことはないが、検討している」と回答しました。この結果、**7割以上の方がリフォームに関心を持っている**ことが明らかになりました。
- 一方で、**約3人に1人**がリフォームを**「実施したことがなく、検討もしていない」**と回答する結果となりました。

回答選択肢	回答者数	割合
実施したことがある	266	60.3%
実施したことはないが、検討している	49	11.1%
実施したことがなく、検討もしていない	126	28.6%
合計	**441**	**100.0%**

※単一回答

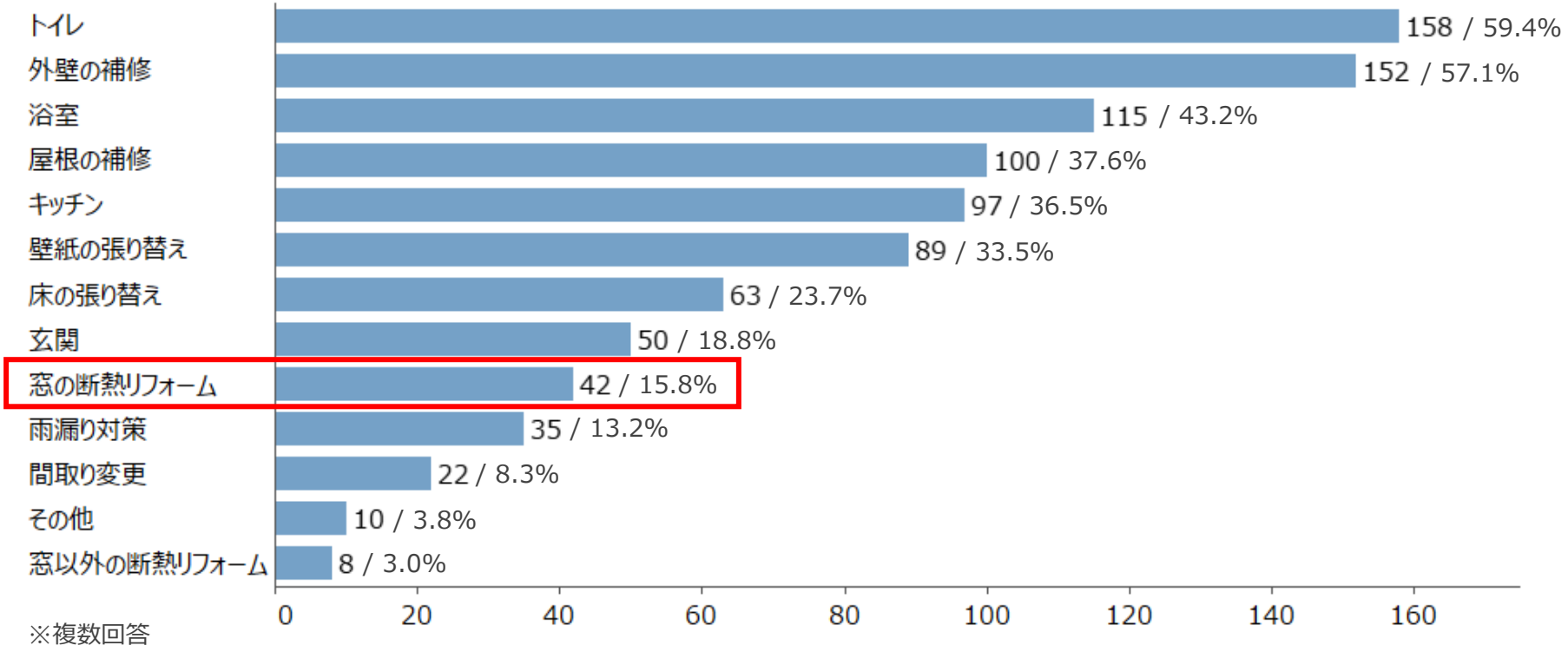


調査結果

Q2. Q1で「実施したことがある」と回答した方にお伺いします。どのようなリフォームを実施されましたか？

- リフォーム経験者が実施した内容で最も多かったのは、**「トイレ」（59.4%）**でした。次いで**「外壁の補修」（57.1%）**、**「浴室」（43.2%）**と続き、水回りや外壁といった日々の暮らしに関わるリフォームが中心であることがわかります。
- 一方で、**「窓の断熱リフォーム」は15.8%**にとどまりました。

N=266



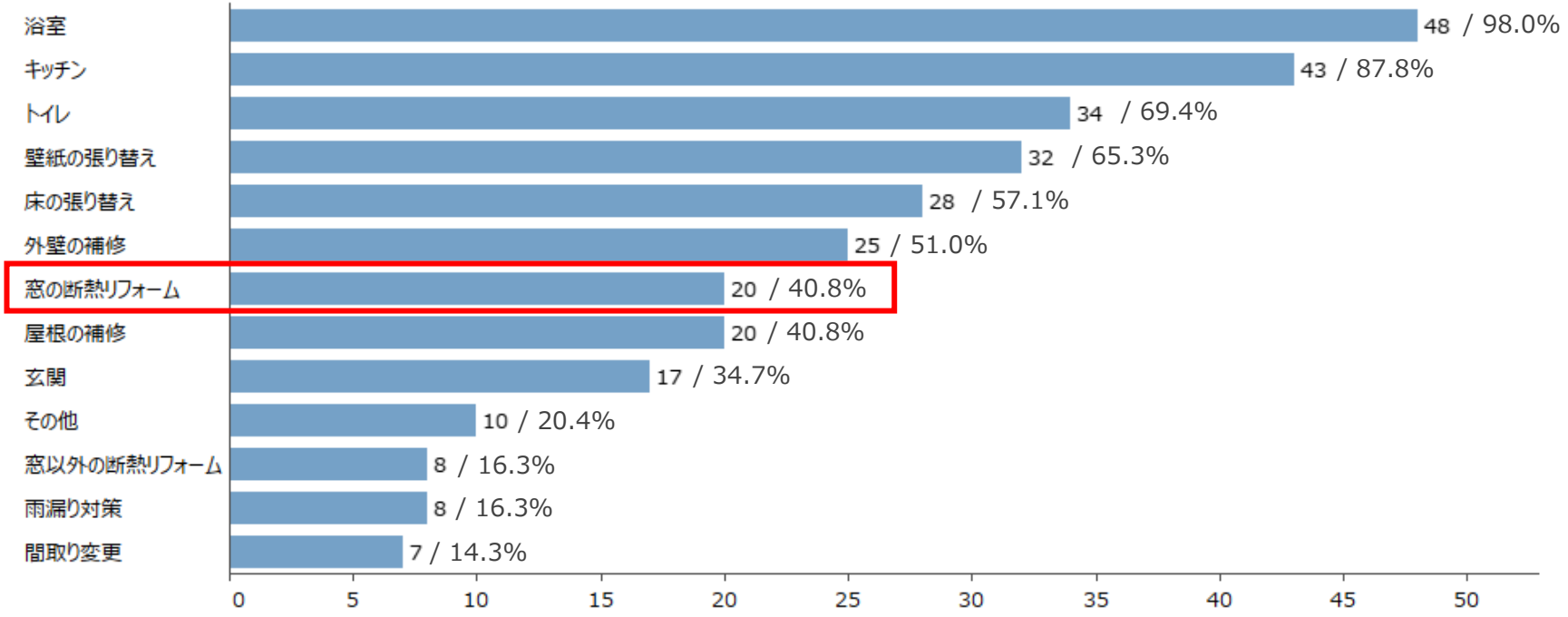
※複数回答

調査結果

Q3. Q1で「実施したことはないが、検討している」と回答した方にお伺いします。今後リフォームするとしたら、どのようなリフォームを優先的に実施したいですか？優先する順にお答えください。

- 「実施したことはないが、検討している」と回答した方が、今後**優先的に実施したいリフォームは、浴室、キッチン、トイレなどの水回り**のスコアが高い結果となりました。
- 壁紙の張り替えや床の張り替えといった内装リフォームや、外壁の補修も比較的上位にランクインしています。
- 一方で、**窓の断熱リフォーム**は、全体の中では中位に位置しており、**優先順位は低い**傾向にあります。

N=49



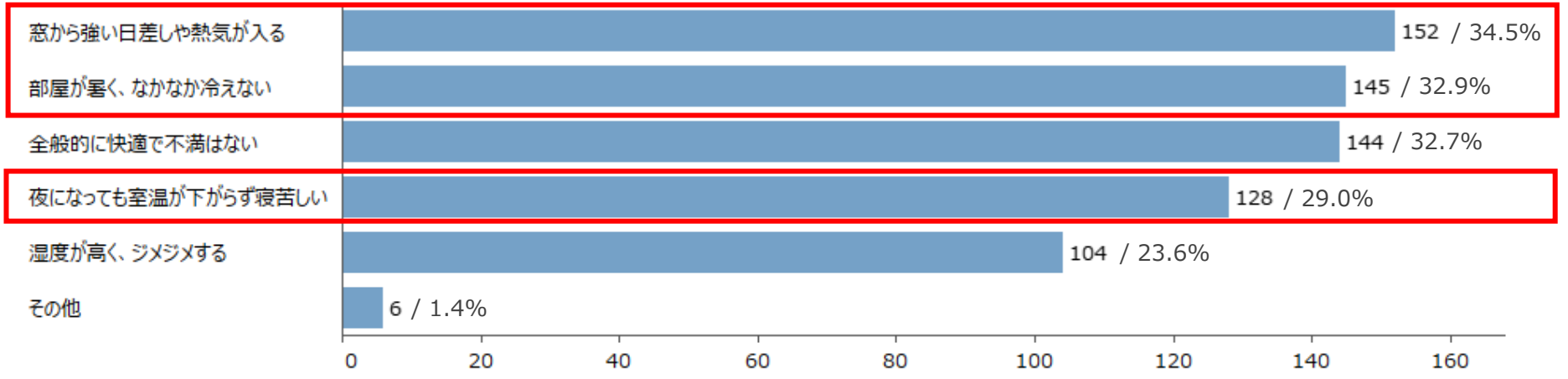
※重複回答を全て集計

調査結果

Q4. 夏のご自宅の快適性について、当てはまるものがあれば お答えください。

- **最も多かった悩みは「窓から強い日差しや熱気が入る」（34.5%）**で、次いで**「部屋が暑く、なかなか冷えない」（32.9%）**、**「夜になっても室温が下がらず寝苦しい」（29.0%）**が続きました。
- 一方で、**回答者の3割以上（32.7%）は「全般的に快適で不満はない」**と回答しています。

N=441



※複数回答

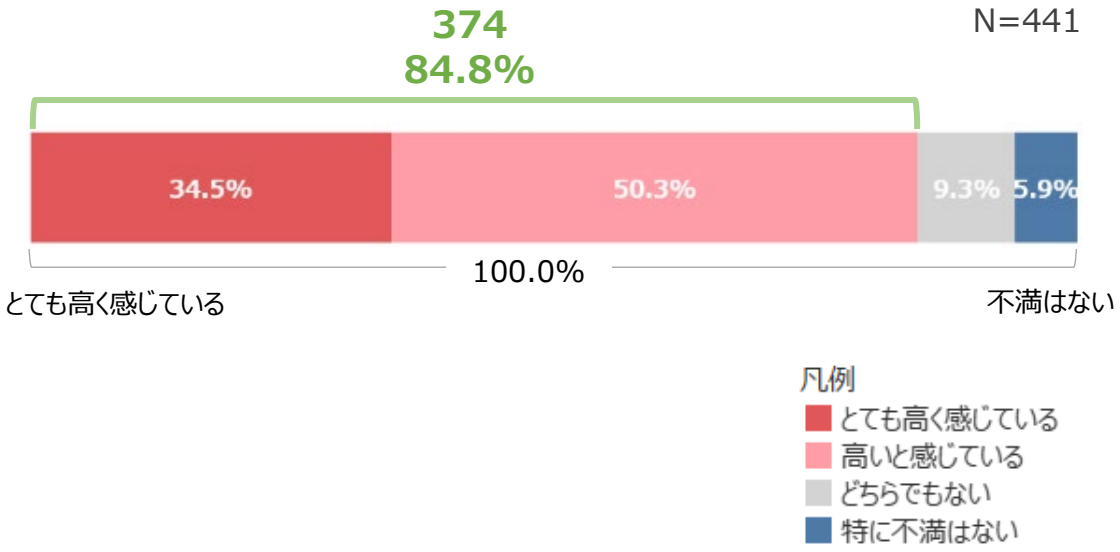
調査結果

Q５．夏の電気代について、どのように感じていますか？

- **回答者の8割以上（84.8%）が「とても高く感じている」（34.5%）、「高いと感じている」（50.3%）**と回答しました。
- 一方で、**「特に不満はない」と回答した方はわずか5.9%**にとどまりました。

回答選択肢	回答者数	割合
とても高く感じている	152	34.5%
高いと感じている	222	50.3%
どちらでもない	41	9.3%
特に不満はない	26	5.9%
合計	**441**	**100.0%**

※単一回答

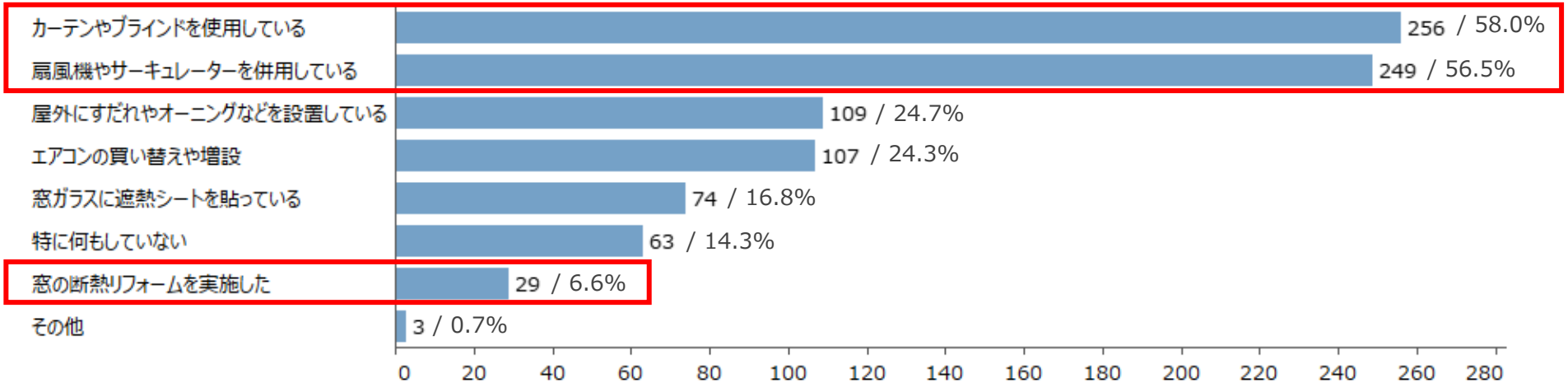


調査結果

Q６．夏の住宅における暑さ対策として、現在何か取り組んでいることはありますか？

- **「カーテンやブラインドを使用」（58.0%）と「扇風機やサーキュレーターを併用」（56.5%）**が、いずれも**約6割**を占め、最も一般的な対策であることが分かりました。
- 一方で、**「窓の断熱リフォーム」を実施した方は6.6%**にとどまりました。

N=441



※複数回答

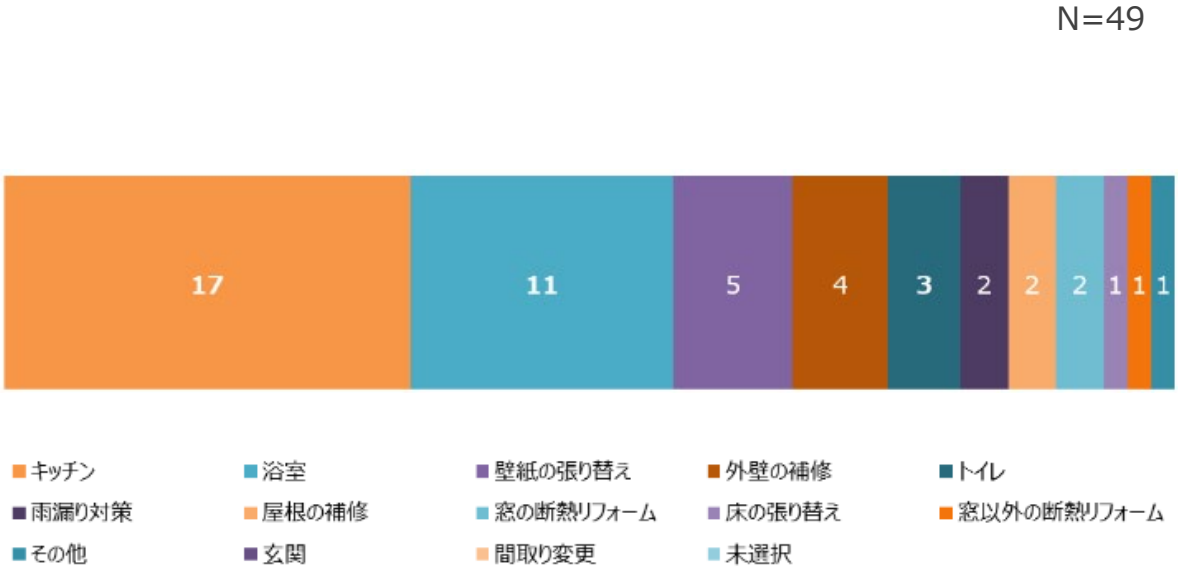
調査結果

Q７．Q1で「実施したことはないが、検討している」と回答した方にお伺いします。今後、最優先で実施したいリフォームメニューはなんですか？

- 「最優先で実施したいリフォームメニュー」は、キッチン34.7%　（17件）となりました。
- 一方で、窓の断熱リフォームを1位に選んだ回答は4.1%（2件）にとどまりました。

回答選択肢	回答数	割合
キッチン	17	34.7%
浴室	11	22.4%
壁紙の張り替え	5	10.2%
外壁の補修	4	8.2%
トイレ	3	6.2%
窓の断熱リフォーム	2	4.1%
屋根の補修	2	4.1%
雨漏り対策	2	4.1%
窓以外の断熱リフォーム	1	2.0%
床の張り替え	1	2.0%
その他	1	2.0%
玄関	0	0.0%
間取り変更	0	0.0%
未選択	0	0.0%

※複数回答



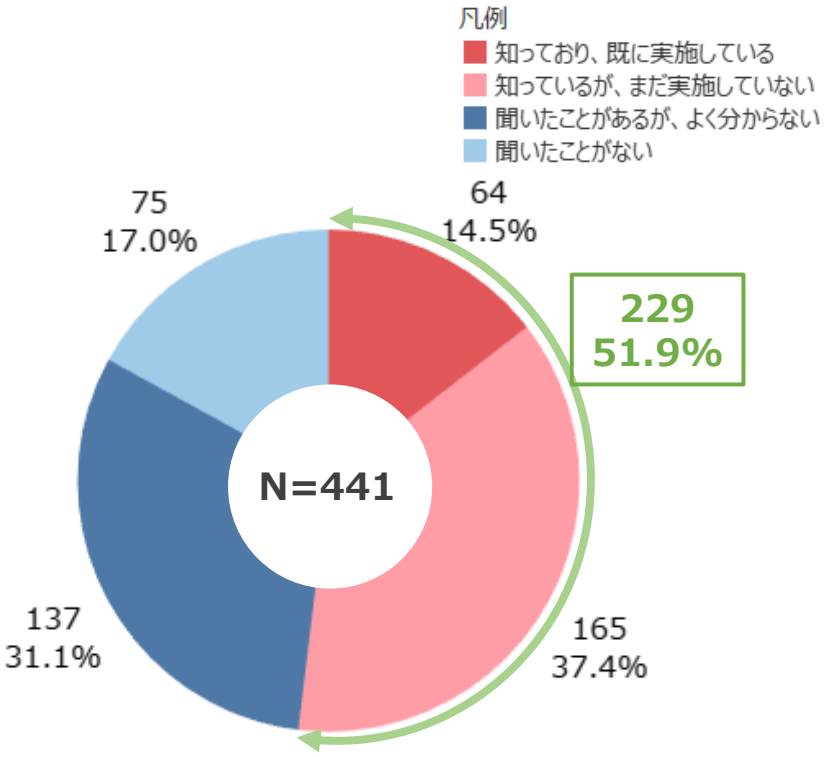
調査結果

Q８．「窓の断熱リフォーム」についてご存知ですか？

- **「知っており、既に実施している」（14.5%）**、**「知っているが、まだ実施していない」（37.4%）**を合わせると**５割以上の方が「窓の断熱リフォーム」について認識**していることが分かりました。
- しかし、認知度が高い一方で、**実際にリフォームを実施している方はわずか14.5%**にとどまりました。

回答選択肢	回答者数	割合
知っており、既に実施している	64	14.5%
知っているが、まだ実施していない	165	37.4%
聞いたことがあるが、よく分からない	137	31.1%
聞いたことがない	75	17.0%
合計	**441**	**100.0%**

※単一回答



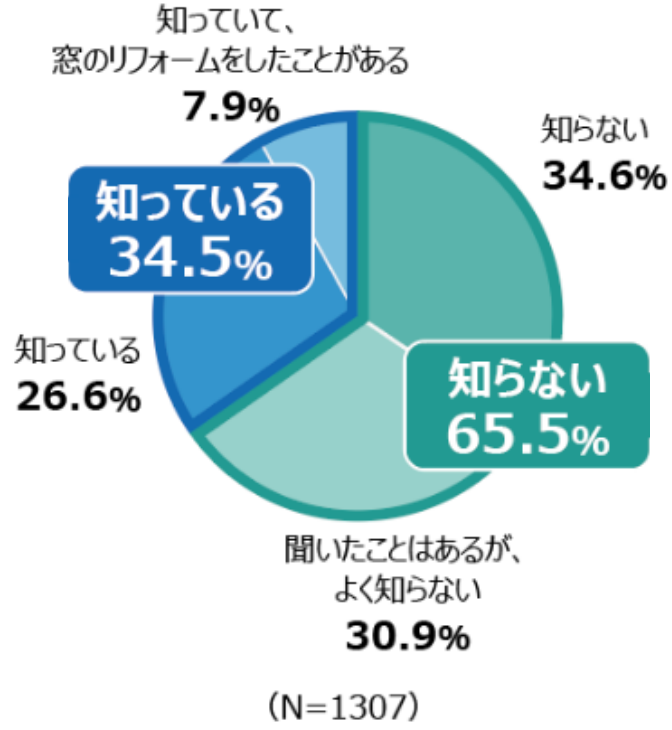
参考情報

2022年8月調査

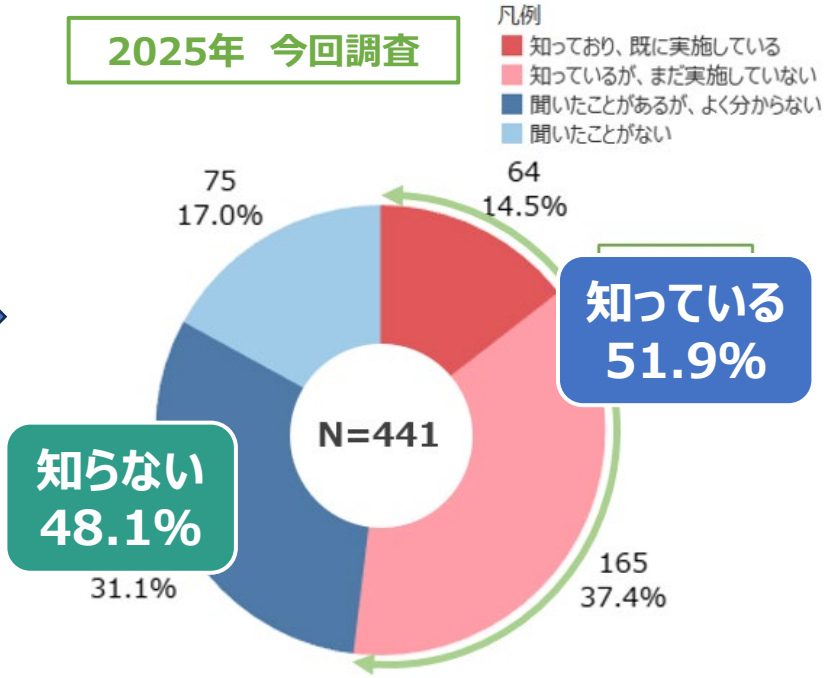
「住まいの窓をリフォームできることを知っていますか」

- 「知らない、聞いたことはあるがよく知らない」（65.5%）
- 「知っている」（34.5%）

2022年　過去調査



2025年　今回調査



窓リフォームの認知は確実に向上している

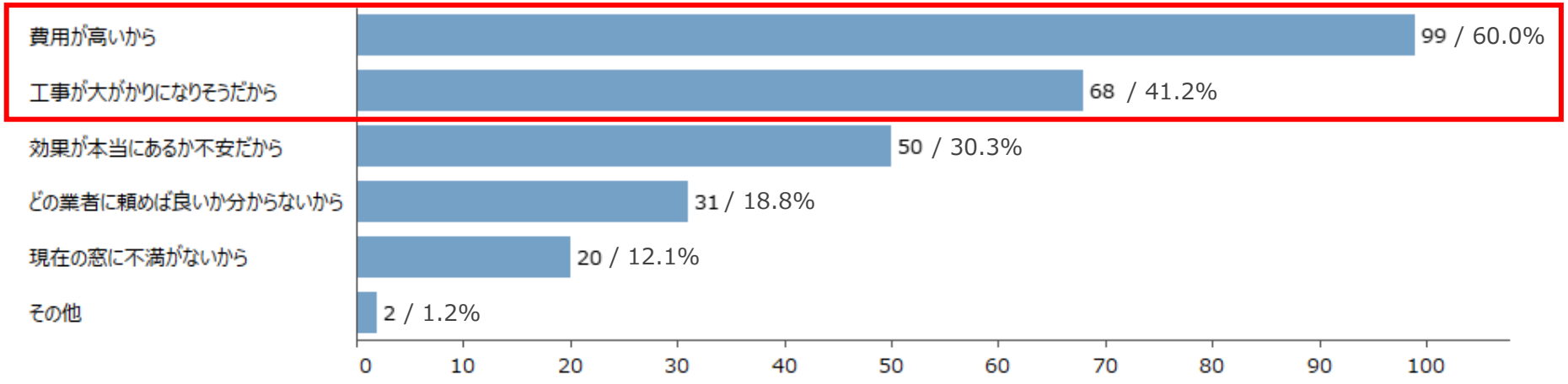
出典：YKK AP　“節電対策”および住まいの“窓”に関する意識調査
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000521.000006735.html

調査結果

Q９．Q８で「知っているが、まだ実施していない」と回答した方にお伺いします。実施に至らない主な理由をお答えください。

- **「費用が高いから」**という理由が、他を引き離して最も多く、**60.0%**を占めました。次いで、**「工事が大がかりになりそうだから」（41.2%）、「効果が本当にあるか不安だから」（30.3%）が上位**に挙げられました。
- 一方で、**「現在の窓に不満がないから」と回答した方は、12.1%**でした。

N=165



※複数回答

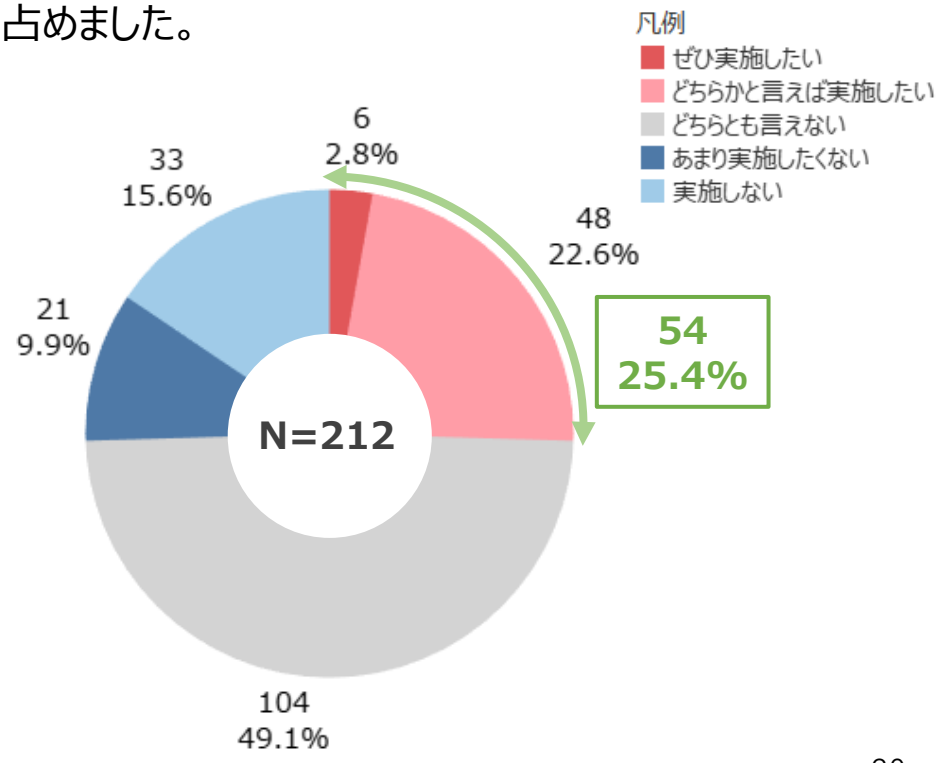
調査結果

Q９．Q８で「聞いたことがあるが、よく分からない」「聞いたことがない」と回答した方にお伺いします。窓の断熱リフォームのメリットを知った上で、今後実施してみたいと思いますか？

- **「ぜひ実施したい」（2.8%）**、**「どちらかと言えば実施したい」（22.6%）**を合わせると**4人に1人（25.4%）が実施に前向き**な意向を示しています。
- 一方で、**「どちらとも言えない」（49.1%）が約半数**を占めました。

回答選択肢	回答者数	割合
ぜひ実施したい	6	2.8%
どちらかと言えば実施したい	48	22.6%
どちらとも言えない	104	49.1%
あまり実施したくない	21	9.9%
実施しない	33	15.6%
合計	**212**	**100.0%**

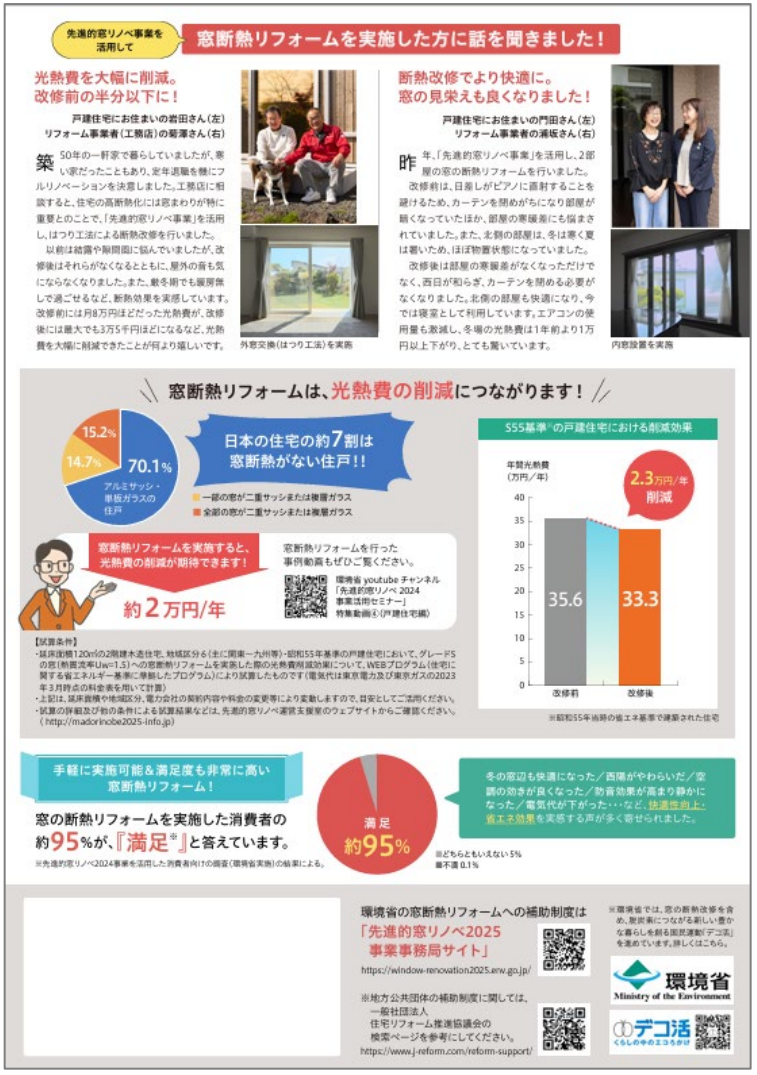
※単一回答



参考情報

Q９における「窓断熱リフォームのメリット」説明資料





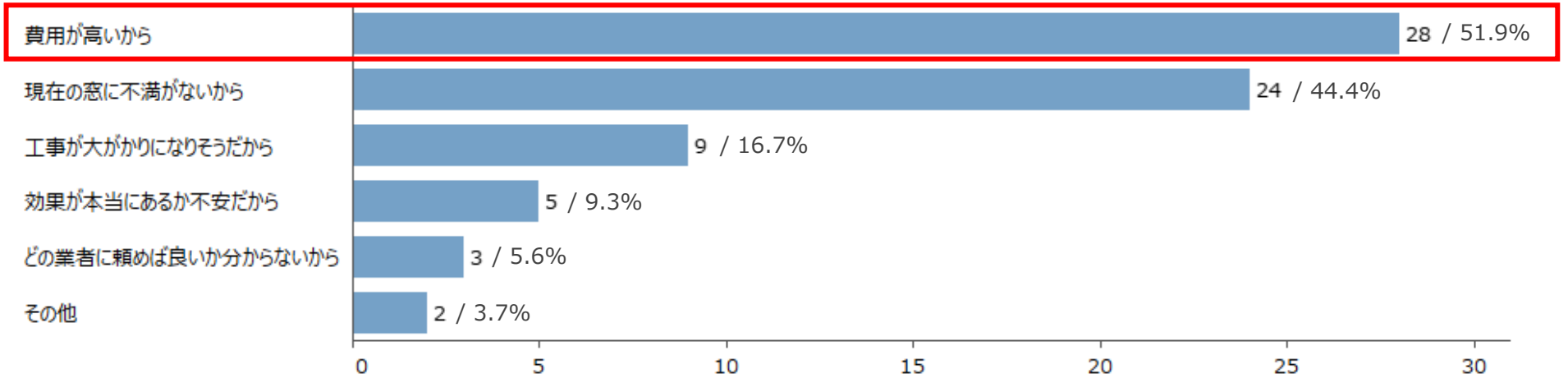
先進的窓リノベ2025　情報ステーション　資料

調査結果

Q10. Q9で「あまり実施したくない」「実施しない」と回答した方にお伺いします。実施に至らない主な理由をお答えください。

- 最も多かった理由は**「費用が高いから」で、全体の51.9%**を占めました。
- この結果は、Q9で明らかになった、「窓の断熱リフォーム」を「知っているが、まだ実施していない」方が実施に至らない主な理由と同様、**「費用が高いから」が最も多い回答**となりました。

N=54



※複数回答

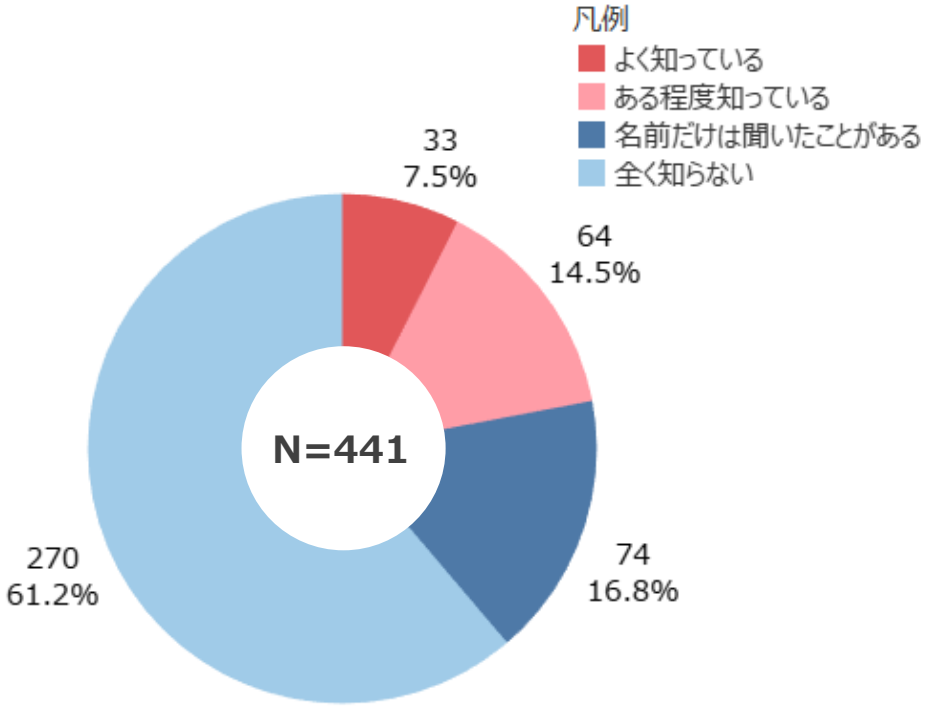
調査結果

Q12. 国による窓断熱改修を対象とした補助金「先進的窓リノベ2025事業」について、ご存知ですか？

- **「全く知らない」**と回答した方が**6割以上**を占める結果となりました。
- 一方で、「よく知っている」「ある程度知っている」「名前だけは聞いたことがある」と回答した方を合わせても4割を下回る結果となりました。

回答選択肢	回答者数	割合
よく知っている	33	7.5%
ある程度知っている	64	14.5%
名前だけは聞いたことがある	74	16.8%
全く知らない	270	61.2%
合計	**441**	**100.0%**

※単一回答



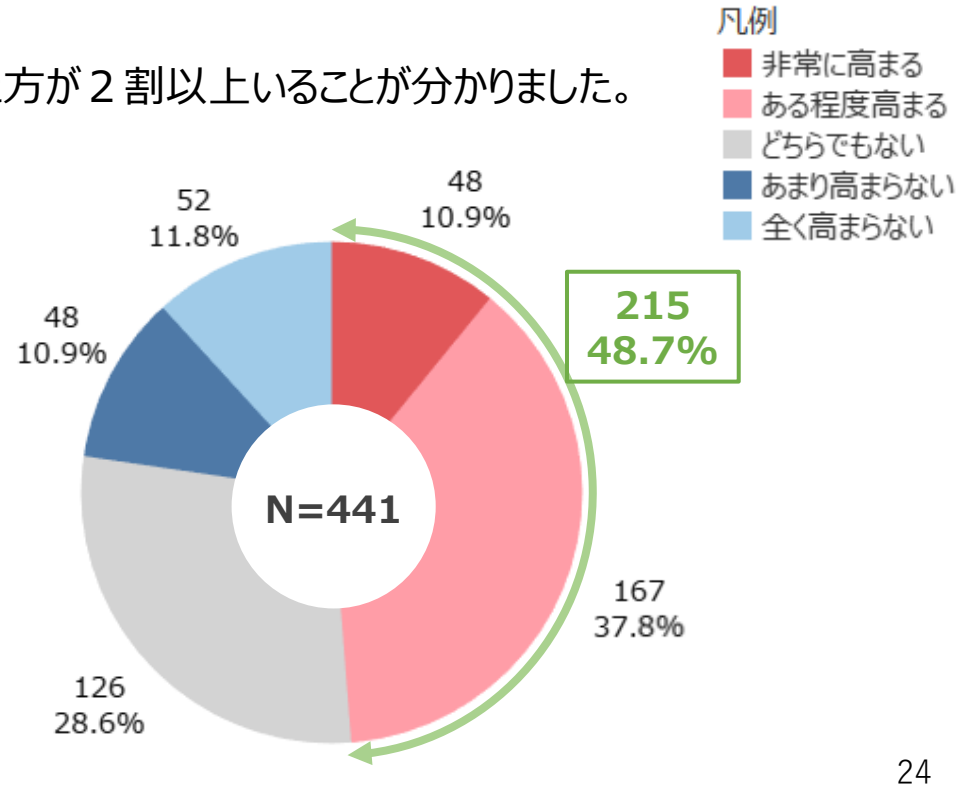
11. 調査結果

Q14. 「先進的窓リノベ2025事業」を活用すると、窓の断熱改修にかかる費用のおよそ半額程度の補助金を受けることができます。こういった補助制度を活用することで、窓断熱改修の意欲は高まりますか？

- **「非常に高まる」（10.9%）**、**「ある程度高まる」（37.8%）**を合わせると、**約5割が窓断熱改修への意欲が高まる**と回答しています。
- 一方で、「あまり高まらない」「全く高まらない」と回答した方が２割以上いることが分かりました。

回答選択肢	回答者数	割合
非常に高まる	48	10.9%
ある程度高まる	167	37.8%
どちらでもない	126	28.6%
あまり高まらない	48	10.9%
全く高まらない	52	11.8%
合計	**441**	**100.0%**

※単一回答



12. 総括

- 今回の調査では、築20年以上の戸建住宅にお住まいの方が、夏の住環境について抱える具体的な課題、そしてその解決策である窓の断熱リフォームへの意識が明らかになりました。

1. 夏の住宅課題の主な要因

夏の住宅の快適性を損なう主な要因は、**窓から入る強い日差しや熱気**であることが分かりました。
この熱気が室内温度の上昇やエアコンの効率低下、さらには睡眠不足といった連鎖的な課題を引き起こしており、夏の住環境における多くの課題が「窓」と深く関わっていることが示されました。

2. リフォームの課題と可能性

窓の断熱リフォーム未実施の理由について、**「費用が高そう」「工事が大変そう」**というイメージが先行していることが分かりました。
これらの課題は、窓の断熱リフォームのメリットが消費者に浸透すれば、リフォームの普及が促進され、快適な住まいへと繋がる可能性も示しています。

3. 補助金の認知

国の補助金制度「先進的窓リノベ2025事業」について「全く知らない」と回答した人が約6割にのぼりました。しかし、**この制度を知った場合、約5割がリフォームへの意欲が高まると回答**しており、**費用面の不安が解消されれば、消費者の意識が大きく変わることが確認できました**。

- **窓の断熱リフォームを普及させるには、リフォームのメリットを伝えるだけでなく、消費者が抱える費用や工事の懸念を同時にお伝えすることも重要だということが分かりました。**
- **この課題をクリアできれば、日本の住宅はより快適で持続可能なものとなるでしょう。**

13. 窓の断熱改修で使える補助金はありますか？

- 国（環境省）による**先進的窓リノベ2025事業**がおすすめです。
- **導入費用の約1/2程度の補助金がもらえるので、実質半額で高断熱窓を導入できます。**
- 詳しくは先進的窓リノベ2025事業の事務局ホームページをご確認ください。

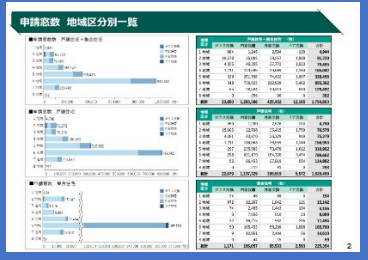


https://window-renovation2025.env.go.jp/

■先進的窓リノベ2025情報ステーション



- リフォーム事業者・地方自治体・消費者向けに、窓断熱リフォームのメリットや、先進的窓リノベ2025事業の活用に向けた各種情報を提供するポータルサイトです。
- 窓断熱リフォームのメリット解説ツール（リーフレットやショート動画など）、光熱費削減効果のシミュレーション資料、自治体における住宅省エネ施策の取組事例集などを公開しています。







https://madorinobe2025-info.jp/

今回の調査を通して、多くの消費者が夏の住環境について
課題を感じていることが分かりました。
その対応策ともなる窓断熱の重要性は消費者にまだ十分に認識されていません。

この重要な情報を広く消費者の方々に届けて頂きたく
掲載等のご検討をよろしくお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

一般社団法人
日本サッシ協会
Japan Sash Manufacturers Association